

燥している場合、除草効果が劣ることがあるので、所定量の範囲内で散布水量を多くし、ていねいに散布する。④極端な過湿土壌および砂質がかった土壌で使用する場合、野菜類（とくにだいこん、にんじん）に対して、生育を抑えることがあるので、少なめの薬量を散布する。⑤砂土では使用しない。

コダール[®]水和剤

プロメトリン・メトラクロール水和剤

（取扱メーカー） 武田薬品工業株式会社

対象作物 とうもろこし・大豆・えだまめ・いんげんまめ・さやいんげん・小豆・らっかせい・たまねぎ。

成分・作用特性 本剤は、2-メチルチオ-4,6-ビス-(イソプロピルアミノ)-s-トリアジン……プロメトリン20%と、2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)-6'-メチルアセトアニリド……メトラクロール30%を含有する類白色水和性粉末である。

本剤は、メトラクロールとプロメトリンの作用特性により、イネ科雑草と広葉雑草に高い除草効果と長い抑草期間を有する。

メトラクロールは、非ホルモン型吸収移行性の化合物で、主として雑草の幼芽部より吸収され、幼芽部の伸長抑制、根および地下茎の発生、または伸長を抑制し、最終的には雑草を枯殺する。その枯殺作用は雑草の発生直前に処理した場合が、もっとも強力に発現する。プロメトリンは、非ホルモン型吸収移行性の化合物で、選択性は小さく、雑草の根および茎葉、特に幼植物の根からよく吸収される。吸収された薬剤は、雑草体内を移行して、光合成に関与する Hill 反応を阻害し、炭水化物の生合成、蓄積を阻害する。その結果、雑草は飢餓状態におちいり、やがて枯死する。この阻害作用は発生直後の幼雑草でもっとも大きく、また高温条件下で強く発現する。

特徴 ①イネ科雑草と広葉雑草の広範囲に高い除草効果を示す。②メトラクロールとプロメ

作物	適用雑草	使用時期	適用土壌	10アール当り		使用方法	適用地帯	総使用回数＊		
				薬量（g）	希釈水量（ℓ）			本剤のみ	プロメトリン	メトラクロール
とうもろこし	畑地一年生雑草	は種後発芽前（雑草発生前）	砂壌土 ゝ 埴土 ゝ 埴土	300	70 ゝ 100	全面土壌散布	北海道	1回	1回	1回
えだまめ				400			全 域			
大豆				300						
さやいんげん				300			関東以西			
いんげんまめ				400						
らっかせい										
たまねぎ		定植活着後または中耕除草後（雑草発生前）		200 ゝ 300		北海道		1回		

*: 収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

トリンの共力作用によって、相乗効果を示す。
③長い持続効果を発揮する（40日以上を抑草期間がある）。④作物に対して高い安全性。大豆、いんげんまめ等のマメ類に高い安全性を示す。
⑤人畜毒性および魚毒性が低く、環境への影響が少ない。

毒性 人畜毒性は普通物で、魚毒性はB類である。

使用方法 今回登録となった適用作物、使用基準は表に掲げる通りである。なお本剤は現在適用作物、適用地帯の拡大のため、各種の試験を実施中である。

使用上の注意 ①雑草の発生後では効果が劣るので、雑草の発生前に散布する。②土壤が極端に乾燥している場合、除草効果が劣ることがあるので、所定量の範囲内で散布水量を多くし、ていねいに散布する。③極端な過湿土壤および砂質土壤で使用する場合、生育を抑えることがあるので、少なめの薬量を散布する。④砂土では使用しない。

コダール[®] 細粒剤 F

プロメトリン・メトラクロール粉粒剤

（取扱メーカー） 武田薬品工業株式会社

対象作物 とうもろこし・大豆・えだまめ・らっかせい・にんじん・キャベツ・はくさい・桑。

成分・作用特性 本剤は、2-メチルチオ-4,6-ビス-（イソプロピルアミノ）-s-トリアジン……プロメトリン1%と2-クロロ-2'-エチル-N-（2-メトキシ-1-メチル

エチル）-6'-メチルアセトアニリド……メトラクロール2%を含有する類白色細粒および微粒である。

本剤は、メトラクロールとプロメトリンの作用特性により、イネ科雑草と広葉雑草に高い効果と長い抑草期間を有する。

メトラクロールは、非ホルモン型吸収移行性の化合物で、主として雑草の幼芽部より吸収され、幼芽部の伸長抑制、根および地下茎の発生、または伸長を抑制し、最終的には雑草を枯殺する。その枯殺作用は雑草の発生直前に処理した場合が、もっとも強力に発現する。プロメトリンは、非ホルモン型吸収移行性の化合物で、選択性は小さく、雑草の根および茎葉、特に幼植物の根からよく吸収される。吸収された薬剤は、雑草体内を移行して、光合成に関与する Hill 反応を阻害し、炭水化物の生合成、蓄積を阻害する。その結果、雑草は飢餓状態におちいり、やがて枯死する。この阻害作用は発生直後の幼雑草でもっとも大きく、また、高温条件下で強く発現する。

特徴 ①イネ科雑草と広葉雑草の広範囲に高い除草効果を示す。②メトラクロールとプロメトリンの共力作用によって、相乗効果を示す。③長い持続効果を発揮する（40日以上を抑草期間がある）。④碎土が十分でなく、土塊の大きい圃場でも安定した除草効果を発揮する。⑤土壤の乾湿による効果の変動が小さく、安定した除草効果を発揮する。⑥作物に対して高い安全性。前述の対象作物に対して安全性が高く、通常薬量の範囲では薬害の恐れはない。⑦土壤混和処理した場合でも、あと作物の生育に影響しない。